

永井郁子 ほろお 聲樂家。明治二十六年八月二十日東京生れ（一八九一）。

東京府立第一高等女學校を經く東京音楽學校卒。大正九年府立第一高女教授。十四年聲樂の民衆化を計りて譯詞の據る歌唱を主張し、翌年公は箏、尺八等の純日本樂器を伴奏し、試唱、世評を呼んだ。永井湘南音楽研究所所長。

著書 『邦譯歌詞問 轉機・批判篇』（大正十五年六月十八日廣泉堂）、
『題の前後』

『永井郁子邦語獨唱會歌詞全集』（大正十五年十一月七日自編刊）、

『いばらの道—邦語獨唱十六講』（昭和七年二月一日廣泉堂）等。